



DXPの「勝手にDX」提案《概要版》

ブリヂストンへのDX 戦略提案

タイヤメーカーから「モビリティ・サーフェス・インテリジェンス」のプラットフォーマーへ

💡 DXの科学®

ルールチェンジ戦略

株式会社DXパートナーズ

2026年1月15日



DX提案の本質

現状の課題

既存のDXは「デジタルツールでの効率化」に留まり、ゲームチェンジ(戦術的改善)の段階です。

真のDXとは

事業が成立する前提条件(ルール)そのものを変革する「ルールチェンジ」が必要です。

デジタル破壊者

Amazonのような企業は既存ルールを無視し、デジタル前提の新ルールで市場を再構築しました。

ブリヂストンの現状分析

Bridgestone 3.0ビジョン

サステナブルなソリューションカンパニーへの進化を目指し、T&DPaaS戦略を推進中です。

- Mobox: サブスクリプション型タイヤサービス
- Webfleet Solutions: フリート管理システム
- Tirematics: センサーによる監視システム

現状の評価

これらは先進的な取り組みですが、本質は「アナログ製品の付加価値向上」に留まっています。

デジタル技術は既存プロセスの改善に使われ、ルールチェンジには至っていません。



現状維持の末路



コモディティ化の波

アジア系メーカーの技術向上により性能差が縮小し、価格競争に巻き込まれます。



AIエージェントの台頭

自動運転車のAIがタイヤを選定する時代に、ブランド価値だけでは選ばれません。



デジタル破壊者の脅威

プラットフォーマーに顧客接点を奪われ、部品供給者に転落するリスクがあります。

ルールチェンジ への挑戦

Bridgestone Real-time Surface Intelligence Ecosystem (B-RISE)

タイヤを「路面と接触する唯一の超高感度センサー」と再定義し、データとAIで新たな経済圏を創出します。



新ビジネスモデルの核心

データ収集

タイヤ内蔵センサーが路面情報をリアルタイムで取得

ネットワーク効果

参加車両増加で精度向上、さらなる顧客獲得へ



AI解析

生成AIが路面状況を高精度で分析・予測

価値提供

自動運転AI、スマートシティ、保険会社へインテリジェンスを配信

ツインターボ・エンジンの実装



ターボ1: 高速価値創造

タイヤセンサーからの生データを生成AIがリアルタイム解析し、個々の車両に最適な制御信号をAPI経由で配信します。



ターボ2: ネットワーク効果

接続タイヤが増えるほど路面デジタルツインの精度が向上し、より多くの開発者を引き寄せる自己増幅ループを創出します。

❏ 物理世界とデジタル世界が接触する唯一のインターフェースとして、タイヤは比類なき価値を生み出します。

新モデルの顧客価値



自動運転システム

カメラだけでなく「触覚」を持つことで、あらゆる路面状況での安全走行を保証します。



EVフリート事業者

路面状況に応じた最適制御により、航続距離を延長し、エネルギー効率を最大化します。



スマートシティ

道路劣化状況を可視化し、予知保全による効率的なインフラ管理を実現します。



競合との差別化

vs. ミシュラン

ミシュランは「距離を売る」B2Bモデルですが、本提案はAIドライバーへの直接価値提供を実現します。

vs. Amazon

物理拠点網という参入障壁を持ちながら、路面のAWSとして機能します。

vs. Tesla

OEM単独では収集不可能な世界中の路面データを中立的に提供します。



経営層へのメッセージ

ゲームチェンジャーではなく、ルールチェンジャーになれ

01

タイヤの再定義

「黒くて丸いゴムの塊」から「自動運転車の皮膚と神経」へ

02

ビジネスの転換

モノを売るのではなく、未来の安全と移動の最適解(データ)を売る

03

成長の変革

リニアな成長からネットワーク効果による爆発的成長へ

04

新たな創業

Bridgestone 4.0として、モビリティ社会のOSを目指す

技術、資産、資金力は揃っています。必要なのは過去の成功体験を捨て、新たなルールを書き換える勇気だけです。